

第3次防府市観光振興基本計画（案）に対するパブリックコメントに提出された意見と市の考え方

No.	意見	市の考え方	対応区分
1	<p>防府市には学問の神様として広く知られている「防府天満宮」があり、受験生や試験を控えた多くの方も参拝されています。そこで返礼品の候補として「防府天満宮の御利益」は検討出来ないでしょうか？例えば、①「特別の御祈願お守り・はちまき」等、②「拝殿での御祈願+①」等、③「防府市内宿泊クーポン券+②」等々。もちろん防府天満宮の同意は必要となりますが、防府天満宮は認知度も高く北野天満宮・太宰府天満宮と並んで防府市を強くアピール出来る地域財産だと思います。防府市観光で来られる方の半数以上が県内の方、約7割が日帰りと言うことも考慮し、より県外の方々へも防府天満宮を「身近に感じて頂ける」ソフト面でのおもてなし（返礼）も視野に入れてはいかがでしょうか？</p>	<p>ふるさと納税の返礼品として、「防府天満宮の御利益」の御提案をいただきました。大変貴重な御意見として、ふるさと納税の所管課である産業振興部商工振興課へ情報提供いたします。</p> <p>なお、ふるさと納税につきましては、貴重な財源であることから、国や県の補助金等だけでなく、このふるさと納税も財源としてとらえるよう、P41の記載内容を修正します。</p>	A
2-1	<p><u>【Q1】全体的に読み進みにくい仕様です。もう少し整理してください。</u></p> <p>パブコメ応募者（意見提出者）への配慮が欠けています。</p> <p>意見提出用紙(アラビア数字)と第3次防府市観光振興基本計画(案)(ローマ数字)の項目の仕様が異なっています。</p> <p>さらに、P37-P38は現在のようなスクロール型のPDFでは、はなはだ見にくいこととなります。この2ページだけ見開きレイアウトでPDFを作成することもできるはずです。パブコメ応募者（意見提出者）への配慮が欠けています。</p> <p>特にP18- P19、P37- P38など、多くのページ構成が見開きページで関連づけられていることが多いので、見開き閲覧できる電子BOOK仕様でアップロードされるべきです。その際、できるだけファイルサイズを小さくし、閲覧者負荷を低減してください。</p> <p>大きなグラフィック画像や、内容的に繰り返しが多い表組が何度も出現します。一見わかりやすいと整理されているように見えますが、とても読みにくく、わかりにくい仕様です。</p>	<p>この度の計画案は、データをA4サイズで印刷して御覧になられることを想定して、スクロール型のPDFとしています。御指摘のとおり、P18-P19、P37-P38のような見開きページで関連づけられた箇所は見づらいと思われます。</p> <p>本計画は、市及び観光振興に係る有識者等で構成する「防府市観光振興推進協議会」で、毎年進捗管理や成果検証を行い、きめ細かに見直し、修正をすることとしております。計画期間内にも内容を充実させ、読みやすくしてまいりますので、御理解を賜りたいと思います。</p> <p>なお、その際には、市のWeb掲載のルールに則りながら、電子BOOK仕様も考えてまいります。</p>	E

No.	意見	市の考え方	対応区分
	<p>一方、全体的に冗長で、ページ数の割に中身が非常に薄い印象です。</p> <p>お絵描きに費用をかけるなら、実際の観光紹介に資するツールに費用をかけるべきと考えます。</p>		
2-2	<p>P3に「観光地点等入込客数」とありますが、観光庁（国交省）の用語の定義などは、下記の通りです。 https://www.mlit.go.jp/common/000995211.pdf</p> <p>(1)観光 本基準では余暇、ビジネス、その他の目的のため、日常生活圏を離れ、継続して1年を超えない期間の旅行をし、また滞在する人々の諸活動とします。</p> <p>(7)観光入込客数 都道府県の観光地点を訪れた観光入込客をカウントした値で、例えば、1人の観光入込客が当該都道府県内の複数の観光地点を訪れたとしても、1人回と数えることとなります。</p> <p><u>【Q2】本数字の元になった実際に行われた調査の概要および観光地点等入込客数に関連するその他の数字も示してください。</u></p>	<p>P3の「観光地点等入込客数」は、「観光入込客数」の記載誤りです。観光入込客数は、市内の観光地点及び行祭事・イベントごとの観光入込客について、市が観光地点やイベント主催者等に聞き取りを行い、観光地点等入込客数として取りまとめ、これを県が補正したものでございます。</p> <p>観光入込客統計に関する共通基準（観光庁） https://www.mlit.go.jp/common/000995211.pdf</p> <p>本数字に関連して、各観光地点やイベント毎の観光入込客がございりますが、ページの都合により掲載が難しいことから、おもてなし観光課のホームページでの公表に代えさせていただきます。</p> <p>おもてなし観光課ホームページ https://www.city.hofu.yamaguchi.jp/soshiki/25/index-2.html</p> <p>なお、P3の記載誤りにつきましては、訂正します。</p>	A
2-3	<p><u>【Q3】防府市の統計「施設別観光客数」の総数2,413,741と2,397千人の差約16,741の意味も説明をお願いします。</u></p> <p>「観光案内所利用者数11,822人」は観光庁が定義する</p>	<p>防府市の統計「施設別観光客数」の総数2,413,741人は、情報政策課が取りまとめた平成30年の観光施設来場者の延べ人数であり、本計画案P3に記載している「観光入込客</p>	E

No.	意見	市の考え方	対応区分
	<p>「観光客」の数字でしょうか？</p> <p>駅の観光案内所でもうめテラスの観光案内コーナーでも、訪れた際、観光客かどうか聞かれたことはありません。こういった論拠の数字ですか。</p> <p>同じく「外国人観光客数10,289人」と一の位まで明示してありますが、例えば日本人と東アジアの観光客で構成されているグループの場合、どうやって外国人かどうか識別し、統計数字に反映されているのでしょうか？</p> <p>中国からの友人2名を伴い防府を案内した際、どの案内所でも観光地点でも連れの2人が日本人か外国人か聞かれたことはありません。</p> <p>例えば下記の山口市の「2019年山口市観光動態アンケート調査集計・分析報告書」を防府市の唯一の観光統計「施設別観光客数」と比べると、彼我のレベルの乖離の大きさに唖然とします。予算の問題もあるとは思いますが、それなりではあっても「誠実」な統計を公表する姿勢があるべきではないでしょうか。</p> <p>(https://www.city.yamaguchi.lg.jp/uploaded/attachment/46724.pdf)</p>	<p>数」2,397,000人は、おもてなし観光課が聞き取りを行った令和元年の観光地点等入込客数を、県が「実人数」に補正したものです。この延べ人数と補正された実人数の差が御質問の16,741人となっています。</p> <p>観光において、統計の精度を上げていくことは大切なことでございますので、今後も国や県の御協力を仰ぎながら、諸基準に基づく統計に努めてまいりたいと存じます。</p> <p>なお、観光庁に問い合わせたところ、同庁による「観光客」の定義は未だなく、世界観光機関（UNWTO）の定義したものを代わりに示しておられるとのことでした。</p> <p>国連世界観光機関（UNWTO）駐日事務所のホームページの「よくある質問」コーナー https://unwto-ap.org/faq/</p> <p>観光統計－国土交通省 https://www.mlit.go.jp/common/000138677.pdf</p> <p>この「観光客」は、「観光をされた方の実人数」を示しておりますので、本市では、「観光入込客数」と同義であると解釈しております。</p>	
2-4	<p><u>【Q4】 幸せます観光ガイドが「0」のままですが、過去</u> <u>どういった取り組みをされたのか、また、p27に「観光ボランティアガイドや通訳案内士、庭園ガイドなどの「おもてなし」人材の育成」と項目が上がっているだけで、</u> <u>今後どういった取り組みをされるのか具体策が見当たり</u></p>	<p>第2次防府市観光振興基本計画に掲げた「幸せます観光ガイド」は、本市の観光資源について、専門的な知識を有することはもちろん、参加者のニーズに合わせてコースやプ</p>	A

No.	意見	市の考え方	対応区分
	<p><u>ません。</u></p> <p>今回、観光コンベンション協会が告知している「日本庭園ガイド「庭ガール」「庭子」育成講座」は、問い合わせたところ所謂、P27でいう観光ボランティアガイドや通訳案内士、庭園ガイドの人材育成とはかけ離れた企画です。</p> <p>防府市の観光ボランティアについては、かなり以前から、知識不足を虚偽のコメントで補ったり、接遇態度が「おもてなし」とはかけ離れているという苦情も少なくないなど、かなり以前からその質に疑義が持たれています。</p> <p>項目列挙ではなく、具体的な取り組みはないのでしょうか？</p> <p>山口市の下記の取り組みに毛利氏庭園が含まれていることをきちんと告知し、かつ本計画にもきちんと記載すべきです。P38の「毛利氏庭園のガーデンツーリズム登録」では意味が伝わりにくいし、正式名称を省略したのでは検索にも不自由です。</p> <p>庭園間交流連携促進計画（通称：ガーデンツーリズム）登録制度に「雪舟回廊」が登録されました。 https://www.city.yamaguchi.lg.jp/soshiki/23/90472.html</p>	<p>ランが設定できる、観光ガイドの最高峰という位置付けを想定していました。</p> <p>しかし、ガイド認定に至る制度設計がなされないまま今日に至り、過去4年間の取り組みとしては、「おもてなし講習会」が数回開催されたのみとなっています。</p> <p>この度の計画では、前計画の反省を踏まえ、飛び抜けたガイドスキルは求めず、観光客等に対し、本市に存在する観光資源についてしっかりと説明ができ、また、基本のおもてなしができる人材を育成することを目指しております。具体的な事業については、防府市観光振興推進協議会にお諮りしながら、実施計画の中でしっかりと検討してまいります。</p> <p>なお、P27及びP38の「毛利氏庭園のガーデンツーリズム登録」は意味が伝わりにくい、という御指摘がございましたので、正式名称へ修正します。</p>	
2-5	<p>P4「障害者差別解消法で求められる取り組みなど」とありますが、改訂された『「ほっ」「うふっ」』冊子は文字の級数が小さくなり、背景画像に被せた文字は読みやすさを著しく阻害した仕様になりました。</p> <p><u>【Q5】防府市および観光課では印刷物に関し、同法に基づきどういった「合理的配慮」を行なっているのかの基準を示してください。</u></p>	<p>本計画は、障害者差別解消法の趣旨等を踏まえ、障害の有無等に関係なく、誰にとっても使いやすく分かりやすいように都市や生活環境をデザインするという「ユニバーサルデザイン」の考え方に基づき、ユニバーサルデザインフォントの一つである「MORISAWA BIZ UDP ゴシック」フォントを採用することにいたしております。</p> <p>本市では、同法の規定に基づき、障害を理由とする差別の解消に関して職員が適切に対応できるよう、</p>	E

No.	意見	市の考え方	対応区分
		<p>必要な基本的事項を定めた市職員対応要領を制定していますが、印刷物については、同法に基づく「合理的配慮」に関する基準を定めておりません。</p> <p>市政に関する各種情報は、ホームページ上だけでなく、印刷物として提供されている現状を考えると、印刷物に関して、同法に基づく「合理的配慮」に関する基準を定めることは重要なことと思いますので、貴重な御意見として承り、担当の部署である総合政策部情報政策課や、健康福祉部障害福祉課に情報提供いたします。</p>	
2-6	<p><u>【Q6】 P10の「観光客はどこに行ってるの？」に主要拠点での県内・県外別のグラフがありますが、どういう統計に基づいているのですか。</u></p>	<p>市内の観光地点及び行祭事・イベントごとの観光入込客について、市が観光地点やイベント主催者等に聞き取りを行い、取りまとめた数字に基づいております。</p> <p>観光入込客統計に関する共通基準 (観光庁) https://www.mlit.go.jp/common/000995211.pdf</p> <p>おもてなし観光課ホームページ https://www.city.hofu.yamaguchi.jp/soshiki/25/index-2.html</p>	E
2-7	<p><u>【Q7】 さらにここで「県内」とある数字は観光庁が定義する「観光客」ですか。</u></p> <p>つまり日常生活圏を離れた人、すなわち防府市民は省かれた数字と理解しますが、観光案内所やここにあげられている観光拠点で防府市民か否かなど全く聞かれたことはないのですが。</p>	<p>No. 2-3 でお答えしましたとおり、観光庁には「観光客」の定義はなく、統計の基準を示す際に、世界観光機関 (UNWTO) の定義したものを代わりに示しているとのことです。</p> <p>本計画内の「県内」の数字は、この基準に拠らず、2-6 にお示したとおり、観光庁の観光入込客統計に</p>	E

No.	意見	市の考え方	対応区分
		<p>関する共通基準に基づいて、市が観光地点やイベント主催者等に聞き取りを行い、取りまとめた数字でございます。市の聞き取りの際に、観光地点等が県内、県外に分類した数字を頂戴しています。</p>	
2-8	<p>本計画は次年度、つまり2021年度からであり、現下の状況では少なくとも年度前半、識者の意見では向こう2年くらいは、コロナ禍の影響があるといわれています。</p> <p>防府市の感染者数は抑えられているものの、観光だけでなく日本経済の上でも今回のパンデミックは未曾有の災害と考えられます。</p> <p>即ち、市内の観光関連業界でも大きなダメージを受け、飲食業界でも少なからず大きな経済的困難に陥っていることと思います。</p> <p>P20には「新型コロナウイルス感染拡大の影響を強く受けることが想定されるため、現時点で想定できる動向を鑑みた施策を示しています。」とあります。</p> <p>しかしながら、2020年度は終わっていない時期での計画(案)であっても、コロナ禍での防府市の観光および観光関連事業者の具体的な分析およびその対応策が、下記のような記載は散見されるものの、具体的な対策が記されていないのは大変遺憾です。</p> <p>P2 「コロナ禍であっても観光振興と地域振興の2つの推進力を動かし続けることが求められています。」</p> <p>「コロナ禍においては、それが顕著になっており、今後は、人となるべく接触せず、プライベートな空間(グランピングや1棟丸ごと貸し切り、マイカー旅行等)での滞在や訪問を求める傾向が高まることが推測されます。」</p> <p>P4 「本市の個性にふさわしい状況判断が求められます。」</p> <p>P5 「コロナ収束までの期間、訪れる人、迎える人が安心して過ごすことができる地域づくりが必要不可欠となります。」</p> <p>「近場への旅行を志向するマイクロツーリズムの傾向が高くなりつつあります。当面、様々な接触を避けた</p>	<p>本計画は、第2次防府市観光振興基本計画の事業実施状況や各種指標の達成状況を踏まえた振り返りや、現状分析等を踏まえ、今後の本市の観光地域づくりに関する基本的な方針を示すことを目的に策定しています。</p> <p>その上で、今後5年間の具体的な取組については、本市を構成する4つのキーバリュー(「自然」「歴史」「スポーツ」「生活文化」)を、「観光地」「食」「おもてなし」の3つの切り口から抽出することにいたしております。</p> <p>なお、具体的に実施する事業については、防府市観光振興推進協会にお諮りしながら、本計画のもとに策定される実施計画の中でしっかりと検討してまいります。</p>	B

No.	意見	市の考え方	対応区分
	<p>観光行動が主流になることが推測されます。」</p> <p>P31 「新型コロナウイルス感染症の収束を見据えた」</p> <p>求められていることを認識し、推測した上で、コロナ禍収束の後ではなく、2021年度の年初から行政として何をどう対処するのか、支援するのか、ほとんど書かれていません。観光計画は傍観者レポートでしょうか？</p> <p>防府市役所もそうですが、防府市内の案内所や観光拠点では、マスク着用はされていますが、シールドやパネルの設置はまれですし、非接触型の手洗い設備や換気設備の感染症対策など皆無のように観察します。</p> <p>今回のコロナ禍終息後、新たな感染症の出現も従前より頻繁になると予測もされています。</p> <p>本計画の作成前、2020年7月に発表された観光庁の「観光ビジョン実現プログラム2020」でもGoToトラベルキャンペーンはさておき、コロナ禍下の観光業界、観光行政へ文言も記されています。</p> <p>https://www.mlit.go.jp/kankocho/news02_000419.html</p> <p><u>【Q8】 現下および将来を見据えた観光行政としての対策案を真剣に考えていただいているのか、大変疑問です。具体的な取り組みを明示ください。</u></p> <p>例えば、直近では、県の観光連盟と物産協会が知事に下記の要望をしたとの報道があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内での宿泊を補助するキャンペーンの再度の実施 ・インターネットで全国に県産品を販売する仕組みを作る ・キャッシュレス決済や、無線を使ったインターネット環境を整備するための支援 <p>感染者の少ない防府市ではリアル感は乏しいとは思いますが、まして本計画作成時には年末からの全国的な感染拡大は想定されていなかったのかも知れません。しかし、既に本計画作成前の今年の春から夏にかけて、防府市の観光客やビジネス来訪者は激減していました。例えば、萩市では以下のような施策を講じています。もちろん以下は所謂観光計画ではありませんが、防府市の観光</p>		

No.	意見	市の考え方	対応区分
	<p>課のHPではこうした告知は見当たりません。</p> <p>がんばろう萩！広告宣伝助成金 https://www.city.hagi.lg.jp/soshiki/51/h27905.html</p> <p>また、短期の中での整備項目でトイレの整備が挙げられていますが、例えば下記萩市のように関係課との連携で整備指針なども示して欲しいと思います。</p> <p>公共施設のトイレにかかる整備方針について（萩市） https://www.city.hagi.lg.jp/soshiki/4/1376.html</p>		
2-9	<p>P23の表には下記の項目が記されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレビ・新聞・ラジオなど既存のマスメディアを十分に活用した情報発信 ・インターネット時代に適応した動画等の多用やSNSなどの発信頻度の強化 ・近隣県の旅行会社等に旅行商品への観光地組み込みを依頼 <p>しかしながら、防府観光コンベンション協会のHPは、定点観光拠点の情報はほとんどHP発足時から変わっておらず、「買う」のお店には画像が未掲載のまま当初から放置されています。また、TOPページに展開されるさまざまな「企画」が、真に日常生活圏から離れた観光客に訴求力のあるものとは思えません。</p> <p>例えば2020年3月策定された周南市観光計画P7には下記の記述があります。</p> <p>http://www.city.shunan.lg.jp/soshiki/17/51147.html</p> <hr/> <p>(1) 観光コンテンツ等の充実</p> <p>旅行形態や観光ニーズに対応した既存の観光コンテンツの磨き上げや充実とともに、新たな地域資源を掘り起こし、観光コンテンツとしての活用を推進します。</p> <p>また、効果的でタイムリーな情報発信やおもてなしを含めた観光客を受け入れる体制を充実させる等により、観光客の満足度を高めます。</p> <hr/> <p>P11事業者等へのヒアリングからでは「情報発信・プロモ</p>	<p>御指摘のとおり、本市もWEB媒体の充実のためには、様々な分析が必要と考えております。</p> <p>このため、SNS等を中心に情報発信を行っている防府観光コンベンション協会と連携しながらWEB媒体の充実に努めたいと思います。</p> <p>一方で、ログ解析については、ローカルストレージからのデータ取り出しを含め、アプリごとのログフォーマットや、保存場所等の専門知識が必要であり、現時点、その知識を有する職員が少ないことも事実でございます。御指摘の事項はインターネット社会の進展とともに益々重要となりますので、外部の知見等を活用しながら、国や県、市全体の情報システム等の進展と併せて考えてまいりたいと存じます。</p>	B

No.	意見	市の考え方	対応区分
	<p>ーション」では「防府市の各地域固有の魅力があるにもかかわらず、上手く伝えられていない」といった記載もあります。</p> <p>観光客のボリュームゾーンであるシニア層には、特に通信料金的な閲覧者への負荷や防府市内でのWifi環境の未整備を考えると、まず動画やSNSに先んじて基本的なHP情報の充実が大切です。</p> <p>防府観光コンベンション協会のHPの仕様は、外注業者への予算消化主体の自己満足的なコンテンツが多いように考えます。</p> <p><u>【Q9】実際にログ解析などをした検証結果など、具体的な検証結果を示して欲しいと考えます。</u></p> <p>旅行会社などへの情報発信も、まずHP上でのコンテンツの充実や企画提案が大切で、実際にそうした仕様のHP構成もあります。</p> <p>萩市観光協会 https://www.city.hagi.com/schools_and_groups/ 南さつま市 https://kanko-minamisatsuma.jp/tourism-association/service/tourism/ 三島市 https://www.mishima-kankou.com/tyoitabi/</p>		
2-10	<p><u>【Q10】「新型コロナウイルス感染症の収束を見据えたインバウンドやクルーズ船の誘致」の箇所で、前回のクルーズ船寄港時には商工会議所などの費用負担をあわせて花火をあげたくらいしか聞いていませんが、実際に防府市内の観光や観光客の市内での消費があったのでしょうか？</u></p> <p>また、コロナ禍以前であっても初年度以後「0」です。</p>	<p>直近のクルーズ船寄港時（2017年10月の飛鳥Ⅱ）は、観光バスによる防府市内半日観光等のオプションツアーが実施され、これに参加された方のほか、タクシーで市内の観光地を巡られた乗船客もおられ、防府市内での観光消費はあったと考えています。</p> <p>残念ながら、2017年10月の飛鳥Ⅱ以降、本市へのクルーズ船寄港はございませんが、今後もクルーズ船の誘致に努めてまいりたいと存じ</p>	E

No.	意見	市の考え方	対応区分
		ます。	
2-11	<p>着物の着付けや歴史ガイドツアー等「体験型観光」のうち、過去の「着物の着付け」の体験型観光の企画は、特定の業者と「だけ」の取組みが繰り返されています。他の地域の着物ツアーでは「着物を着て観光」が主体で、特定の着付業者や着物レンタル業者とだけと連んだ企画は聞いたことがありません。</p> <p>防府市でも若い人でも自分で着物を着れる人は少なくありませんし、着付教室もあります。どうしてこうした特定業者の利用を前提とした企画のみ繰り返されるのでしょうか？</p> <p>もちろん、「着物で観光」開催にあたって、非日常圏からの観光客や、自分で着物を持たない人、着れない人のために、付随的なサービスとしてイベント開催時に着付け業者やレンタル業者にスタンバイしてもらうのは親切です。しかし、いつも同じ業者の利用を義務付けた着付を条件とした企画を協会が催すのは大変疑問に思っていました。</p> <p><u>【Q11】本観光計画でも「着物の着付け」に限って項目として記載されるのか大いに疑問です。どうして一般的な「着物で観光」にしない理由はなぜですか？</u></p>	<p>本計画には、本市の観光の4つのキーバリュー（「自然」「歴史」「スポーツ」「生活文化」）が設定されており、ここから今後5年間の取組として、体験型観光を抽出したところでは、</p> <p>この中において、これまで防府観光コンベンション協会がイベント等で実施してきた着物体験を、体験型観光の取組の例として掲げており、これは御意見にございます「着物で観光」と同じ意味での掲載でございますので、御理解を賜りたいと存じます。</p>	C
2-12	<p>本計画（案）資料に「防府市観光振興推進協議会」に委員名があります。設置要綱では第2条に「協議会は、第2次防府市観光振興基本計画の事業の進捗状況を把握し評価を行うとともに、その評価を反映させ、改善することに関する必要な事項を協議する。」とあります。</p> <p><u>【Q12】本計画に会議体の総括または答申などを、明確にそれとわかる形で開示・反映してください。</u></p> <p>または、上記2条で定められた目的を達せられなかったのであれば、会議体事態が無意味だったということでしょうか？そうであれば、設置目的に定めた目的にある活動が完結できなかったのに委員に日当や交通費が支払われているのであれば、費用の返還を求められたのでしょうか？</p>	<p>防府市観光振興推進協議会は、基本計画の改善に大きな役割を担うことから、その協議記録などについては、これまで以上にきめ細やかに開示することといたしております。</p> <p>なお、本計画期間の総括につきましては、P41の「計画進捗管理のスケジュール」に掲載いたします。</p>	A
2-13	防府市観光課HPの「防府市観光振興推進協議会」のペ	【2-13、2-14、2-15】	C

No.	意見	市の考え方	対応区分
	<p>ージには3回の会議の項目は上がっていますが、いずれの項目もクリックすると平成29年度第1回は項目だけですし、同年第2回と令和元年第1回のいずれも「お探しのページを見つけることができませんでした。」のページしか現れません。</p> <p>【Q13】 隠蔽する必要があるのですか？</p>	<p>御指摘の、ホームページの非表示につきましては、公開設定等に不備がございましたので、速やかに修正いたしました。</p> <p>直近の協議会は、令和2年1月14日、令和2年8月9日、同年10月29日に開催いたしており、今後も本協議会にお諮りしながら観光諸施策を進めてまいります。</p>	
2-14	<p>【Q14】 本計画（案）P43には下記の記述がありますが、上記 HP の「防府市観光振興推進協議会」のページには項目さえ上がっていません。</p> <p>「第1回防府市観光振興推進協議会<2020年8月7日(金)> ○第3次防府市観光振興基本計画の策定について ○その他</p>		
2-15	<p>【Q15】 防府市観光振興推進協議会について、令和元年度の第2回および本計画案策定年度である令和2年度は全く開催しなかったのはなぜでしょうか？</p> <p>コロナのせいでしょうか？それであってもインターネット会議、それが無理なら文書提出を求めるなど、何らかの任務遂行を求める方法はあったと思います。</p>		
2-16	<p>周南市では下記の「周南市観光ビジョン」のページに策定委員会の開催日とその議事録が掲載されています。（直近のものはパブコメへの影響を考え議事録の閲覧はできなくなっていますが。）特に昨年策定された計画を前に策定会議はかなり頻繁に開催されています。 http://www.city.shunan.lg.jp/soshiki/17/51147.html</p> <p>山口市でも「山口市観光交流加速化ビジョン」には委員名簿だけでなく策定会議の開催日も掲載されており、その開催回数も頻繁です。 https://www.city.yamaguchi.lg.jp/uploaded/attachment/35046.pdf</p> <p>P41に「防府市観光推進協議会は毎年1回以上開催します。」とありますが、周南市、山口市の実体に照らし、はなはだ無責任感が拭えない書きぶりです。</p> <p>【Q16】 防府市観光振興推進協議会は年1回にとどまら</p>	<p>観光振興基本計画の内容の柔軟な見直しや変更を行うため、必要に応じて協議会を開催いたします。また、御指摘にもございますが、議事録等は速やかに公開いたします。</p>	B

No.	意見	市の考え方	対応区分
	<p><u>ず必要に応じて開催していただきたいし、議事録の公開も必ず行なって欲しいと思います。</u></p>		
2-17	<p><u>【Q17】過去の反省点を見据えた計画になっているとは思えません。</u></p> <p>P1には「“住みたくなる、訪ねたくなる”観光地域づくりを理念に掲げ、さまざまな主体と連携協力しながら、観光に関する取組を推進していきます。」とあり、P3には前計画の反省として「計画に掲げた事業の実施体制が不十分であったことや、予算が想定通りに配分できなかったことなどが要因」とあります。</p> <p>本当にそれだけでしょうか？</p> <p>ここ数年は観光課の人員が減ったとはいえ、それまでの人員はかなりの数でしたし、現状の観光コンベンション協会の人員を加えると、防府市の観光行政に携わる人員が少ないとは思えません。</p> <p>P11には「観光に対する理解の醸成」として「地元事業者・住民の参画が不十分 防府市の魅力が理解されていない」と記され、あたかも行政ではなく地域の側の責任のような記述です。行政が巻き込む努力を行っていないことや、行政の成果を地域で実感できないからではないでしょうか？</p> <p>前述の協議会との取り組み「さえ」形骸化していたように観察されます。</p> <p>計画での体制は、P20の「実施体制」やP24、P28、P32の表組、P40の「推進体制」、P41の「市民・関連事業者等での事業推進」「民間事業者等の協議による事業見直し」などに連携対象の名前などが挙げられています。しかし、本計画（案）にはHOWの記述が欠落しています。</p> <p>下記は平成25年10月に開催された経済産業省の産業構造審議会-地域経済産業文化会に提出された資料です。観光庁の施策だけではままならないと業を煮やした経産省はさまざま提案や施策を打ち出しています。</p> <p>観光地域振興の推進体制と推進プロセス デスティネーション・マーケティングとマネジメント体制の強化</p>	<p>この度のパブリックコメントの御意見も含め、様々な考えや新しい仕組みなどを各所から頂戴しながら、本計画のKPIである観光入込客数300万人を達成できるよう、努力いたします。</p> <p>実施すべきことやその進め方などは、防府市観光振興推進協議会にお諮りし、実施計画の中でしっかりと検討してまいります。</p>	B

No.	意見	市の考え方	対応区分
	https://www.meti.go.jp/committee/summary/0004651/pdf/030_05_00.pdf		
2-18	<p>【Q18】P43には「防府市議会説明<2020年8月25日(火)>とありますが、市議会の第4回定例会(9月)8月31日から9月25日です。部外者には意味がわかりません。説明をお願いします。</p>	<p>本市におきましては、各課が策定する基本計画を、各協議会にお諮りすると同時に、市民の意見をより反映させることを目的に、市議会議員に対して説明会を開催しております。</p> <p>説明会は、市議会議員の参集の都合から、市議会定例会の会期中に行うことが多くなっていますが、状況によっては、会期の前あるいは後に実施することもございます。</p> <p>御指摘の会議は、市議会定例会の前に実施したものでございます。</p>	E
2-19	<p>同じくP43に実施主体には「防府市地域交流部おもてなし観光課、関係各課、県など」とありますが、予算やトイレなどの設備整備などを除く、観光コンテンツ的には、関係各課の言葉で括ってしまう以上に密接に連携すべき文化財課の名称がリストアップされていません。</p> <p>本計画案には、P4の中に「歴史文化基本構想」の言葉があるだけで、文化財課の「歴史文化基本構想」が反映されている形跡や内容が伺えません。この構想は2019年4月施行された改正文化財保護法の趣旨に基づき作成されたものです。本法改正は、それまで保護一辺倒だった文化財行政を活用重視に方向転換を図ったものです。既に、観光行政はもとより民間企業やNPOが歴史的建造物等の文化財を生かして地域活性化プロジェクトに取り組む事例も少なくありません。</p> <p>しかしながら、本計画案には、P38に「文化財発掘や文献研究等の成果発表や・・・」と中途半端な記述があるだけですし、立ち上げ以来観光拠点の案内を放置したままの観光コンベンション協会のHPの情報発信などに、文化財課およびその歴史文化構想との連携は伺えません。</p> <p>行政の縦割りの弊害や無駄を省くためにも、コンテンツの整合性を図り、観光課やコンベンション協会では、さらに広く活用すべく注力や工夫があつて当然と考えます</p>	<p>御指摘のとおり、文化観光推進法に基づく地域計画に本市も参加しております。このため、文化財課を交えた会議体の必要性を強く感じております。本市の観光のキーワードには「歴史」もあることから、文化財課との連携は重要でございます。</p> <p>おもてなし観光課、文化財課、防府観光コンベンション協会が一体となって行う会議体の開催につきましては、今後しっかりと考えてまいります。</p>	B

No.	意見	市の考え方	対応区分
	<p>が、非常に残念です。</p> <p><u>【Q19】「防府市観光推進協議会」以外に、観光課、文化財課、観光コンベンション協議会での会議体も定期的</u> <u>に開催していただく予定はないのでしょうか？</u></p>		
2-20	<p>観光コンベンション協会の目的は、「観光宣伝、観光客及びコンベンションの誘致等観光に関する諸施策を行なうこと並びに防府市の観光事業の振興と健全なる発展に努めること、併せて地域経済、住民生活の安定向上に寄与することを目的とする。」とあります。</p> <p><u>【Q20】防府市コンベンション協会設立後（名称改訂以後）コンベンション誘致についてどういった成果があるのか、どういった活動をされているのか教えてください。</u></p> <p>特に、大規模コンベンションを開催するインフラが無い防府市の場合、どういったコンベンションの誘致をターゲットとしているのか、そのためにどういった活動をしているのか協会のHP等でも不明です。</p> <p>日本コンベンション都市ガイド 施設の概要と公的支援 https://mice.jnto.go.jp/assets/docs/manuals/city_guide_JP20181114.pdf</p>	<p>防府観光コンベンション協会は、平成 30 年の名称変更以来、コンベンション開催情報の収集やコンベンション主催団体等への売り込みのほか、新たに創設した「コンベンション開催助成金制度」による開催支援、といった活動を行っております。</p> <p>なお、活動につきましては、新型コロナウイルス感染症の発生などもあり、十分な成果を上げておりませんが、今後も本市と連携しながら努力してまいります。</p>	E
2-21	<p>また、同協会の活動を下記の観光庁の「観光地域づくり法人（DMO）とは？」の内容に照らし、登録ができる組織を目指して欲しいと考えます。</p> <p>https://www.mlit.go.jp/kankocho/page04_000048.html</p> <p>HP「たびたび防府は長年放置したままのページが多いことや、日本語的に疑問を生じるコピーや説明不足、画像が未掲載での放置、観光客に訴求力があるとは思えないレポート（天満宮のビニール傘）など、首を傾げます。</p> <p>企画は特定業者や会長企業との企画が目につき、駅観光案内所では、スタッフは置いてある観光冊子を読んでいる形跡も無く、観光協議会のHP「たびたび防府」をチェックしてもおらず、コロナ禍のためか来訪者も少ない</p>	<p>【2-21、2-22】</p> <p>防府観光コンベンション協会には、令和元年4月より市職員1名を、また令和2年6月からは、地域おこし協力隊員1名を市より派遣しており、体制の強化を図っています。</p> <p>御指摘にございます、防府観光コンベンション協会のDMO登録につきましては、観光庁が平成27年に作成した『「日本版DMO」形成・確立に係る手引き』を参考に、DMO登録できる組織になるよう、市として支援してまいりたいと存じます。</p>	E

No.	意見	市の考え方	対応区分
	<p>のを良いことに担当者のお喋り場に化しています。</p> <p>基礎自治体によっては、観光計画を観光課と観光DMOの連名で作成されているところもあります。</p> <p>『坂井市版DMO・DMC』創設に向けた組織のあり方等に関する検討報告書~持続可能な観光地域づくりの実現に向けて~坂井市版(福井県)</p> <p>https://www.city.fukui-sakai.lg.jp/kanko/kanko-bunka/kanko/documents/hp_houkokusyo.pdf</p> <p>木更津版DMO設立計画書 平成29年12月木更津市</p> <p>https://www.city.kisarazu.lg.jp/_res/projects/default_project/_page_001/002/808/20180313-103601.pdf</p> <p>近江八幡市</p> <p>https://www.city.omihachiman.lg.jp/material/files/group/102/dmo-keikakugaiyou.pdf</p> <p>いわゆる「観光協会」と「観光DMO」の違いは、前者が事業者視点であり、後者が顧客視点であることです。防府市観光コンベンション協会は親しい業者擁護の姿勢を早く脱却し、観光客視点、防府市全体の観光振興の視点で活動する法人にスタンスを変えて欲しいと考えます。</p> <p><u>【Q21】観光課と観光コンベンション協会の連携が密接になされているのでしょうか？</u></p>	<p>「日本版DMO」形成・確立に係る手引き</p> <p>https://www.mlit.go.jp/kankocho/page04_000081.html</p> <p>また、おもてなし観光課および防府観光コンベンション協会と各観光拠点とは、年間のイベントや行事等をまとめた観光カレンダーを共有しており、今後も連携の強化に努めてまいります。</p> <p>なお、近隣市の観光案内所や主要駅、空港などへの市の観光案内冊子の設置につきましては、令和2年度におもてなし観光課の組織体制を整え、きめ細やかな設置に努めているところ です。</p>	
2-22	<p><u>【Q22】観光課および協会と各観光拠点との連携は密接になされているのでしょうか？</u></p> <p>P3にマイクロツーリズム云々とあり、P46-3には「周辺市町村との広域的な連携による情報発信や施設同士相互の情報発信を進めることも必要である」と意見があったとありますが、どう深耕するかに関する言及はありません。</p> <p>周南市観光計画のP28には「集客力につながる連携の強化」の広域連携に言及され取り組み例に防府市との連携も掲載されていますが、本計画(案)には具体的な言及がありません。</p> <p>近隣市の観光案内所や主要駅、空港などで防府市の観</p>		

No.	意見	市の考え方	対応区分
	<p>光案内冊子などの配置は甚だ貧しい状況です。全く置かれていないか、mapのチラシまたは玉子かけごはんのチラシだけ、『「ほっ」「うふっ」』が置かれていても残部が数冊のことが多いです。</p>		
2-23	<p>P19やP38には食に関する大項目が挙げられています。しかし、はっきり言って「玉子かけごはん」は数件で食べましたが不味い！</p> <p>ホテルの朝食で「玉子かけご飯」を打ち出している所もありますが、そのほとんどは銘柄米を竈か土鍋で炊いた白米に地鶏やブランド鶏の新鮮な生玉子とお醤油をかけた「だけ」のもので、とても美味しいです。</p> <p>また、地方を代表する「食」例えば愛媛の「鯛めし」や香川のうどん、熊本の馬刺などはどこのお店で食べても、各々工夫はありますが美味しいです。鱧料理も、京都のそれと比べると防府のお店のは、市内でも高級店といわれるお店でもかなりレベルが落ちる印象です。</p> <p>「日英饗応料理」も2017年12月22日号の山口きらメールに詳細が掲載されていますが、防府市観光コンベンション協会や文化財課のHPなどでは、もはや情報はみつかりません。せめてきらメールの当該ページにリンクを貼るくらいは・・・。</p> <p>幕末の長州のお殿様と英国海軍キング提督の饗応 山口きらメール2017年12月22日号vol. 332 http://kirara.pref.yamaguchi.lg.jp/vol332/yamaguchigaku/index.php</p> <p>また、下記のページに有る先生方に英文での広報アドバイスをお願いすると良いと思います。</p> <p>2019年9月16日にはロンドンに現地調査と文献調査に行き、あわせて幕末の日英のおもてなし料理について、Japan Societyで、五島淑子とアンドリュー・セネック（共に教育学部）が講演を行います。 http://www.yamaguchi-u.ac.jp/yamaguchigaku/latest_news/_7993.html</p> <p>例えば呉の入舟山記念館では、往時のディナーが食材見本の手法で再現されテーブルセッティングされていま</p>	<p>御意見ありがとうございます。</p> <p>防府市観光振興推進協議会にお諮りしながら、実施計画の中でしっかりと検討してまいります。</p>	B

No.	意見	市の考え方	対応区分
	<p>す。料理ごとに説明カードも添えられています。</p> <p><u>【Q23】 飲食店や地元のボランティアに実際の料理におまかせして展開することの他に、英雲荘にでもこうした忠実な再現展示を行ってはどうでしょう？</u></p>		
2-24	<p><u>【Q24】 ワーディングからも、本計画が自らの計画であるという主体性が乏しいことがうかがえます。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「求められます」 138回 ● 「推測されます」 16回 ● 「必要があります」 6回 ● 「課題」 92回 <p>⇒客観的スタンスの評論家的な表現、または報道機関がよく使う言い回し。つまり、「でどうする」が無い無責任記述</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「目指します」 5回 ● 「します」 58回 <p>⇒主体的に取り組む「姿勢」だけで、具体的な中身が乏しい</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「発信」 594回 ● 「連携」 624回 <p>⇒発信と連携が課題という認識が強烈なのは伺えますが、やはり深耕した具体的な計画や方針が見えてきません。</p>	<p>御意見ありがとうございます。</p> <p>本計画のKPIである観光入込客数300万人の達成に向けて、具体的な観光の取組が進展するよう、防府市観光振興推進協議会にお諮りしながら、実施計画の充実に努めてまいります。</p>	E
2-25	<p><u>【Q25】 看板や観光案内の充実とありますが、設置場所や記載内容など十分検討して欲しいと思います。</u></p> <p>現在はどうか不明ですが、以前、大平山の広場には仕様や描かれている方角が全く違う案内看板が2つ設置されていましたし、佐波川沿いの自転車道案内は経年劣化していました。また文化財課の金属製の案内も読みにくくなっている物もあります。</p> <p>富海の史談会は精力的に活動しておられるのに、無人駅である富海駅には案内版がありませんでした。</p>	<p>御意見ありがとうございます。</p> <p>看板や観光案内については、観光客をはじめ誰にでも見やすく、分かりやすいものとなるよう、設置に努めてまいります。</p> <p>また、おもてなし観光課内に施設係を設置いたしましたので、当係にて看板の設置場所や記載内容についてしっかりと検討してまいります。</p>	B
2-26	<p><u>【Q26】 本計画内容とは全く関係ありませんが、活用の検</u></p>	<p>情報の御提供ありがとうございます</p>	E

No.	意見	市の考え方	対応区分
	<p>討をご一考ください。</p> <p>以前、防府市内の中学生（校名は忘れました）が共同で、吉田初三郎が描いた防府の鳥瞰図をモザイク術で拡大再現したことがありました。聞く所によると、防府市のものは市長室にあるということですが、広く市民や観光客にも楽しめるように活用されれば良いと思います。</p>	<p>ます。</p> <p>御案内の鳥瞰図は確かに市長室にございます。活用につきましては、今後の参考といたします。</p>	
3	<p>外国人観光客の観点から、以下のインフラ整備に取り組むことが計画の土台であると考えます。</p> <p>例えば、市内のバス停の時刻表表示は日本語のみであり、英語表示も加える必要があります。以前、駅前です市内に住んでいると思われる外国人から、「〇〇に行きたいが、何番の乗り場で何時のバスに乗ったらよいか」と訪ねられ、この課題に気づきました。紙の時刻表も英語版を用意した方がよいと思います。</p> <p>また観光スポットや宮市通り等の道沿いに置かれている、通りの由来等の説明パネルにも英語を並記する等、何らかの工夫が求められると思います。</p> <p>市内の飲食店がメニューに英語版を作成出来るようなサポートも望まれることだと考えます。</p> <p>観光も自粛されているこの時期にこそ、先を見据えてこれらのインフラ整備に力を入れて頂きたいと思います。また、市内に住む外国人へのヒアリングを行うことで、これまで気づけなかったようなアイデアも得られるのではないのでしょうか。</p>	<p>御意見ありがとうございます。</p> <p>世界的な新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、訪日外国人観光客が激減する中、コロナ収束後を見据えたインフラ整備に取り組むことは重要であると考えます。</p> <p>本計画案 P23、P27 の取組内容の中に「景観に配慮した案内板等の整備」とありますが、「等」の中には、外国人観光客に対応したインフラ整備も含めており、御意見にあります英語表記等につきましては、防府市観光振興推進協議会にお諮りしながら実施計画に盛り込み、確実に行ってまいりたいと存じます。</p>	C
4	<p>今回の総合計画素案で示されている「農林業の知と技術の基盤」の整備とともに、防府市を支えていく産業基盤として、「観光による地域振興」は伸びていく可能性を秘めた分野であり、市が今後注力していくべき主要な柱であることは、間違いありません。</p> <p>基本計画全般にわたって詳細なデータを取集し、それに基づいて分析・提示されている課題についても、概ね納得できるものです。しかし課題を実行していく道筋、いくなれば、“HOW”が貧弱であることが、とても気になります。現状分析と課題の洗い出しで力を使い果たし、ゴールの課題解決のための具体策づくりまで行きつけていない、山の7合目くらいで息が切れたという印象が否めません。</p>	<p>貴重な御意見ありがとうございます。</p> <p>「観光による地域振興」を実現するための課題をどのように実行していくべきか、4つの視点からお示しいただきました。</p> <p>これらの御提案は、今後防府観光コンベンション協会をはじめ、観光に携わる団体等との連携の中で、あるいは防府市観光振興推進協議会にお諮りしながら、事業として具体化できるよう、検討してまいりたいと存じます。</p>	B

No.	意見	市の考え方	対応区分
	<p>バスで団体客が大挙して訪れるという旅行のスタイルに代わって、家族や友人たちの小グループで訪れて、楽しい時間を共有したりSNSで発信したり、一人ひとりの体験や共感を大切にする旅行が、これからの旅の主流になるという指摘・分析は、その通りだと思います。イベントに依存する形で集客をはかる方法は、一時的に認知度を高める効果はあっても、観光の質を高めパワーアップ・底上げしていくことにはつながりません。中長期的なプランをベースに、地道に継続的に取り組みを推し進めていくことが大切です。</p> <p>その意味で、今回の振興計画で示している<「地域の宝」に出会い、その価値を再認識して、磨き輝かせるという方向性>は、的を射たものと言えます。</p> <p>また短期的な施策の最初に掲げられている、観光地周辺のトイレの整備を進めていく方策なども見逃してはならない地道な取り組みの大切なポイントだと考えます。</p> <p>以下、いくつかのHOWを提案します。ご検討ください。</p> <p>①「地域の宝」をたどる、防府の街の「ものがたり」をつくる</p> <p>今回の振興計画の中で、体験するコンテンツが不足しており、まち歩きを促すしかけが必要だと指摘されています。しかけの一つとして提案したいのが、訪れた人たちが豊かな歴史と文化を持つ街の魅力を楽しみ、その世界に浸ることができる「ものがたり」づくりです。</p> <p>観光ポータルサイトの「たびたび防府」で現在紹介しているお勧めのコースはわずかに3コースで、有名観光地をめぐるものにすぎません。</p> <p>小さなものがたりをたどることで、自分たちなりのストーリーやお気に入りのショットを手に入れて、共有できる旅のしかけが重要なのです。スマホを使ってポイントを巡ることができるように、地図WEBアプリを作成することも欠かせません。</p> <p>いくつかの「ものがたり」を考えてみました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いにしへの周防の国府址をたどる 	<p>なお、「課題解決のための具体策づくりまで行きつけていない」、「“HOW”が貧弱である」という御指摘がございましたが、当基本計画を指針とし、当基本計画の下に実施計画が策定されます。実施計画につきましては、防府市観光振興推進協議会にお諮りし、充実することといたしております。</p>	

No.	意見	市の考え方	対応区分
	<p>防府駅 →天満宮御旅所→周防国府船所・浜ノ宮跡 (東南隅) →国衙址(国庁の碑) →周防国府の碑 (西北隅) →佐波神社(周防国総社) →周防国分寺 →防府天満宮</p> <p>・長州藩主毛利家の足跡をたどる 防府駅→英雲荘(三田尻茶屋) →御船蔵 →三田尻 宰判跡 →毛利邸・毛利氏庭園→周防国分寺(英雲公 が金堂再建) →萩往還 →防府天満宮(大鳥居・春風 楼)</p> <p>・御船手組(かつての村上海賊)の栄華をたどる～龍 馬・西郷が訪れた港～ 防府駅 →村上屋敷跡(警固町・案内板が必要) →御 船蔵 →住吉神社鳥居・石造灯台→英雲荘(三田尻御 茶屋) →正福寺村上氏墓(案内板など) →萩往還 →防府天満宮</p> <p>・防府七山を踏破する 防府の街をぐるりと取り巻く大平山、矢筈ヶ岳、右田 ヶ岳、西目山、楞嚴寺山、それに天神山と桑山の7つ の山は、初心者でも登ることが可能な里山で、それぞ れの山頂からは、瀬戸内海に抱かれた防府平野の広が りを実感できます。完登した人には完登証を発行する などの特典を検討してよいと思います。</p> <p>・東大寺再建はここから始まった(山口市と連携) 防府駅 →国衙址(国司上人となった) →阿弥陀寺 →防府天満宮・酒垂神社→岸見の石風呂(以下山口 市徳地) →重源上人像 →佐波川関水(以下山口市徳 地) →法光寺 → 重源の郷・山口市徳地文化伝承館</p> <p>・防府古墳巡り 防府駅 →車塚古墳 桑山塔ノ尾古墳跡→鋳物師大師 塚古墳 →岩畠古墳 →大日古墳→向山3号墳</p> <p>・花めぐり・巨木めぐり 防府天満宮の梅(2月)、向島の緋寒桜(3月初旬)、 海に見える花の園の河津桜(3月初旬)、桑山公園・</p>		

No.	意見	市の考え方	対応区分
	<p>天神山公園（3月下旬）、西浦のエヒメアヤメ（4月、）佐波川の芝桜（4月上旬）、宇佐八幡宮のシャクナゲ（4月中旬）、大平山のつつじ（4月下旬）、毛利氏庭園のサツキ（5月上旬）、毛利氏庭園の青もみじ（5月下旬）、阿弥陀寺のあじさい（6月）、市内ブドウ園の葡萄の花（6月）、国分寺の百日紅（7月）、天満宮の楠（8月）、毛利氏庭園の睡蓮（9月）、柿（10月）、天徳寺の銀杏（11月）毛利氏庭園の紅葉（11月）、橙・みかん・つわぶき・椿・山茶花（10月～12月）、蠟梅（12月～1月）など季節ごとに、おすすめのコースを変えていきます。</p> <p>②周年型の観光へ、点から線をたどる旅へ</p> <p>街をめぐりながら春夏秋冬の季節ごとの姿を楽しむ、周年型の観光を開発します。</p> <p>一つの良い例が、長野県の栗の里で知られる小布施町です。葛飾北斎の美術館などの名所があるだけでなく、街全体が花と緑にあふれて、街歩きが楽しくなる街並みで知られています。大切なことは、名所をピンポイントで訪れるだけにとどまらず、個人のお宅の庭先や街路などを眺めながら、道中も楽しめる街並みだという点です。瀬戸内海に向かってなだらかな平野が広がり、温暖な気候の防府の街には、そんな街をめざせるポテンシャルがあります。</p> <p>「花めぐり、巨木めぐり」で触れた花の名所のみならず、街路樹や個人の庭の景観も取り込んで、まちなかを歩いたり自転車めぐりで楽しくなる街、言うなれば、街全体を季節によって趣きを変えるひとつのテーマパークとして、整備・開発する試みを提案します。繰り返し街を訪れる人たち、リピーターを増やすことは、宿泊を伴わなくても、飲食やみやげものなどの消費につながり、なによりも街の活性化につながります。</p> <p>③農林業の知と技術の拠点という特性を生かす</p> <p>グリーンツーリズムというほど、大げさである必要はありません。農業大学校に加えて農業試験場が移転して</p>		

No.	意見	市の考え方	対応区分
	<p>くることを契機に、県内随一の平野を利用し、市内だけでなく、耕地の少ない周南市や下松市などの住民にむけて未利用の農地を貸し出して、親子で野菜作りを楽しめる市民農園をつくります。また農業団体などの協力を得て、野菜づくりのノウハウを教えるスクールを開設することも、検討してよいと思います。既に開かれている地元産の新鮮な野菜や果樹を安く販売する店舗などとも組み合わせ、農業者との接点もつくることで、交流人口を増やす一環になることは間違いありません。気軽に自然と農作業を楽しめる環境をつくるのが大切です。</p> <p>④市民の力を活用する、市役所各課のパワーを活用する</p> <p>直接観光客と関わる施設、寺社仏閣をはじめ、飲食・宿泊・輸送・コンビニといったさまざまな業種の人たちが関わる裾野の広い産業である観光は、ピンポイントの施設整備やイベントに頼るのでは、波及効果は限定的です。どうすればよいのか。</p> <p>第一に、多くの市民を巻き込むことが大切です。②で述べた「美しい街路・美しい庭」の街づくりを進めて、市の「宝」を輝かせていく環境をつくることから始めます。随分回り道のようにみえますが、自分の家の庭や周囲の街路、水路を整える取り組みは、防災防犯や隣近所との付き合い、高齢者への配慮にもつながっていくはずで、誤解を生まないように付け加えれば、かつての「花いっぱい運動」を展開しようというわけではありません。市民が自分の住む周囲をみつめて、きれいに美しくしようという元来持っている気持ちを上手に結集する取り組みです。連動して植木・造園業者や市役所の道路課や都市計画課などがサポートし、点から線に、そして面へと広げていく中長期的な取り組みが、新しい「防府市の宝」を生み出す原動力になると考えます。</p> <p>第二に、各種団体やNPO、ボランティアグループ、それに隣接市町との連携も重要です。特に農業団体や植木造園の団体、歴史・文化財保存のグループ、それに外国人サポートグループなどの協力連携を得ていく必要があります。観光分野だけでなく、幅広い人たちの知恵と力を結集</p>		

No.	意見	市の考え方	対応区分
	<p>できるかが、成否を握ると言って過言ではありません。ただ既得権や馴れ合いを生まないために不断の検証・見直しは不可欠です。現在の観光ボランティア制度は、不十分な知識や自分勝手な解釈で説明している傾向が、一部で見受けられます。今一度きちんとしたテキストを作成し直し、毎年話し方や接し方の講習会や知識・説明に関する資格テストのようなものを実施して、一定のレベルを保つ仕組みを導入すべきです。</p> <p>また県央圏を構成する山口市や周南市との連携は、足りない魅力を相互補完する観点も加えて、さらに進めるべきです。①で述べた「重源上人の足跡をたどる」には、山口市徳地地域との連携が欠かせませんし、周南市と協力して野島と大津島を回遊し、瀬戸内の海を堪能するツアーも組み立てることも可能です。周南市の若山城址と山口市の山口城跡、高嶺城址、敷山城址、右田ヶ岳城址をめぐる城めぐりのツアーも考えられるでしょう。萩往還については、山口市や萩市のアピールに比べて、防府市は熱量不足です。限られた市の財源を有効に使うためにも、隣接市との連携交流をいかに広げていくかは、これからの大きな課題だと思います。</p> <p>第三に、市役所各課との連携について触れます。市行政全般についてもそうですが、隣接する分野を担当する各課との連絡・調整が不足している感を強くします。歴史・文化が観光の目玉と言いながら、これまで文化財課との連絡・調整は少なかったように感じます。周防国府については最近研究が進んで、シンポジウムが開催されたり保存整備の検討会が設けられています。街の「ものがたりづくり」にあたっては、「防府市歴史文化基本構想」も取り入れ、多様な奥行きのあるものに磨いていくために、文化財課と共に手を携えていく姿勢が必須です。</p> <p>まち歩きを側面サポートするのに、簡単な展示やトイレの利用ができるようにこれまで関りが少なかった公民館の協力を求めたり、街路の整備にあたる道路課、公園の整備を担当する都市計画課と花木センター、さらに農業分野での連携を進めるために農林水産振興課、スポーツ文化課など、市役所各課との協力調整も重要です。</p> <p>⑤最後に</p>		

No.	意見	市の考え方	対応区分
	<p>高齢化と人口減少が加速するこれからの5年後、10年後を見通した時に、都市や生活圏の間での競争・生き残りは激化します。また電気自動車の普及などによって、防府市の産業基盤自体も大きく変わっていかざるを得ません。交流人口を増やしていこうとする観光は、これまでのような付加的な産業ではなく、主要な柱と位置付けられるべき分野です。</p> <p>幸いにして穏やかな瀬戸内海に臨み、広い平野と豊かな水量の佐波川、身近な里山と古くからの歴史文化といった資源を持つ防府の街は、まさに宝に恵まれたところです。その宝を再発見・見直し、磨いて活用するには、さまざまな人たち・市民、市役所全体の知恵と協力連携が何としても必要です。</p> <p>そのコントロールセンターとして連絡調整にあたることが、おもてなし観光課の役割です。そして今回の観光振興基本計画は、これからの時代を切り拓くマスタープランになるということを改めて指摘しておきたいと思います。</p>		